

平成28年度第1回宗像市介護保険運営協議会 議事録

期 日:平成28年6月14日(火)
時 間:午後7時～午後7時50分
会 場:宗像市役所 202 会議室
(北館2階)

<出席者>

【委員】

江頭委員、大林委員、岡山委員【副会長】、奥田委員、小林委員、坂元委員、瀬山委員、西崎委員、丸山委員、三好委員、山下委員、吉田晴委員、吉田道委員【会長】

(欠席 : 飛鷹委員)

【事務局】

柴田健康福祉部長、篠原保険医療担当部長、嶋田介護保険課長、山倉健康課長、北原高齢者支援課長、下垣地域包括支援センター所長、長濱介護保険係長、栗田介護認定係長、山口地域包括支援係長、有吉健康推進係長、安川介護保険係企画主査、豊福地域包括支援係企画主査、梶原介護保険係主任主事

<会議次第>

1 開会

2 会長挨拶

3 議題

(1) 報告事項

- 健康福祉部の人事異動について 【資料1】
- 第6期計画期間中の介護保険事業の実績報告について
・ 1号被保険者数、要介護（支援）認定者数の推移 【資料2】
・ 介護給付、予防給付の実績 【資料3】
・ 地域支援事業の実績 【資料4】 【資料5】
・ 介護保険事業の財政状況 【資料6】
・ 第1号被保険者保険料の状況 【資料7】
- 指定地域密着型サービス事業所の指定更新について 【資料8】 【資料9】
- 地域密着型サービス事業指定候補事業者選定結果について 【資料10】
- 地域包括支援センターの業務委託について 【資料11】

4 その他

5 閉会

1. 開会

【事務局】

出席予定の委員全員お揃いになりましたので開会したいと思います。コミュニティ運営協議会の石田委員が、5月の総会で河東地区の運営協議会会長を辞任なさいましたので現在空席ということになります。今月末開催の会長会で新しい委員をご推薦いただく予定で、一人欠員です。飛鷹委員は本日ご欠席ということで、本日の出席委員13人全員お揃いですので、会議は成立しております。本日の資料の確認ですが、事前に郵送している次第、資料1から11までお揃いと思います。当日配布資料が2枚で色刷りの地域包括ケアシステム市民向け講演会のチラシと宗像市地域包括ケアシステム推進会議設置要領です。これについては、後程

説明させていただきます。では、平成 28 年度第 1 回介護保険運営協議会を開催させていただきます。本日の議事録署名人は、名簿順で岡山副会長となっておりますのでよろしくお願いいたします。

2. 会長挨拶

皆さんこんばんは。日中かなり暑くなってまいりましたが全国的には梅雨入りということなんですけど、ここ 2 日間ほどは晴天が続いておりまして、在宅診療しておりますと汗ばむような状況で、ふうふう言って帰ってきております。宗像市の介護保険運営協議会、今年度第 1 回目でございます。よろしくお願いいたします。

3. 議題

○健康福祉部の人事異動について

【会長】

議題に入ります。本日は報告事項が大きく5項目。まず、初めの健康福祉部の人事異動について、事務局の方からお願いします。

<事務局説明> 篠原保険医療担当部長あいさつ

【会長】

これについて質問はないですね。

○第6期計画期間中の介護保険事業の実績報告について

【会長】

2つ目の議題、第6期計画期間中の介護保険事業の実績報告について、事務局の方からお願いします。

<事務局説明>

資料4の訂正: 世代間交流支え合い事業の 葉山地区→葉山区、田久地区→田久区
生きがい活動支援通所事業平成 27 年度実績 44 人→92 人

【会長】

それぞれの担当者から、第6期介護保険事業の実績報告がございましたが、ご意見、ご質問はございませんでしょうか。

【委員】

介護予防事業について伺います。資料4の介護予防事業で、栄養改善事業が平成27年度非常に減っているんですがこれはどういう理由があるのでしょうか。それから、介護予防事業全体が、これからの地域支援事業としてすごく大事になってきますし、基準額が5200円と結構な金額になってしまっているの、介護保険をあまりに使われてしまうと、基準額が高くなってしまって、今後、高齢者の支払い能力が困難になっていくということで、介護予防事業にすごく力を入れれないといけない項目ですよ。これについて、いろいろ実施はされているんですが、効果測定といいますか、介護予防事業の効果測定とか、経年変化でやっていくとかそのあたりの計画はどのようにされているのでしょうか。

【事務局】

栄養改善の18人の推移についてはまた調べてからご報告したいと思います。申し訳ありません。

もう1点目の経年変化でございますかね。

【委員】

介護予防事業の効果測定もうすでにやっていらっしゃるのか、やっていないとしたら、今後どのように効果測定を考えているのか。たとえば、訪問リハビリとかだんだん増えていきますけど、その効果を、どれくらい機能を落とさずに、高齢者を支えきれているのかということの、されていないとすれば、今後どのようにしていかれるのかということですね。保険料の基準額にも影響してくると思うので、もし計画がありましたら教えてください。

介護予防事業受けられた方は、要支援の方、あるいは特定高齢者だと思うんですけども、要介護1、2の人数はあまり変わっていないんですけど、そっちにどんどん落ちていくような介護保険の財政的にそれが必要な人になっていくわけですが、今後は、予防事業でとめておくとか、そこでできるだけひきとめておくことが

大事だと思うので、予防事業をされて、これだけの人が利用しましたという実績は報告されているんですけども一人の人がそれを受けられて、どのくらい予防のレベルでとどまっていられるのかということはおそらく研究しなけりゃいけないところじゃないかなと思うので、そのあたりを今すでに追いかけていっちゃうのであればそれを教えていただきたいのと、もしされていないのであれば、今後計画がもしないのであれば、こういうことも考えていただきたいということです。

【会長】

例えばですね。今回説明があった、要介護認定率が、実際要支援1、2が減っているけれどもそれは、介護予防事業が反映した結果かということも尋ねていられるのか。介護予防事業を受けた方が要介護度が進まずに、改善もしくは維持されているかということを確認しているんですかね。

【委員】

そうです。

【事務局】

要支援1、2を対象としている介護予防サービス事業についてということですのでお答えします。まず、評価を実施しているかという質問に対しての回答としては、端的にいうと、現在のところそこまでは実施しておりません。というのが、実際に数を拾おうと思えばできることではあります。今年度、昨年度から総合事業に移行するということがありました。その準備等で、大変な状況でもありましたし、総合事業に移行するということと国の考え方として自立支援に向けてという方向性が出ているのは事実であります。

なので、今取り組んでいるところとしては、地域ケア会議を通して、要支援1、2の方を、自立に向けて、介護にならないようにどのような支援をしていこうかというのを多職種の視点のもとでみていこうということで、昨年1年間は包括支援センターの職員とケアマネの、やっぱりその、たぶんこういうのってケアマネの質にもよるかと思えますし、ケアマネがどういったプランニングをしてきたかということにもなると思えますので、昨年1年間は包括支援センターの事例で研鑽を重ねてきたところです。今年度は宗像市内の居宅介護支援事業所に参加していただいて、実際に要支援1、2のプラン、包括支援センターだけでは持てないものですから、居宅の方にももってもらっています。そのケアマネジャーたちにも、自立支援という考え方を浸透させようということで、地域ケア会議にも出てもらっているということになります。なので、数の評価ではなく、質のところで実施をしている。

できればご指摘のように、要支援1、2の人たちが、サービスを利用することによって、本当に自立、できれば要支援2の人が要支援1にどれくらいなったか、要支援1の人がどれだけ卒業できたか。今から総合事業の方に主に要支援1、2の人たちがどれだけ移行するかということになってくるかと思えますので、ご指摘の評価すべきではないかというご意見については真摯に受け止め、今後の業務の状況と合わせながら評価のタイミングというものは考えていかなければならないと思っております。

【会長】

ほかにご質問、ご意見ございませんか。

一つ私から質問させていただきたいんですが、収納率が0.1%も上がったのは何か工夫があるのですか。

【事務局】

3月まで収納課で滞納整理等していましたので、回答させていただきます。介護保険だけに限らず、税と一緒に徴収しておりましたので、合わせて介護保険料も後期高齢も一緒にやっていくということですので、職員の努力が一番かなと思っております。差し押さえ等もきちっと法律に基づいてやってる成果ではないかと思っています。

また、突然27年度で0.1上昇したわけではなくて25年度は99.29%、26年度の99.33%、27年度は99.37%ということで、0.04ポイントずつ少しずつ上がってきて、四捨五入の結果でもあります。

【会長】

他にございませんか。

○指定地域密着型サービス事業所の指定更新について

【会長】

ないようですので、次の指定地域密着型サービス事業の指定更新について、事務局からお願いします。

<事務局説明>

【会長】

ただいまの説明に対してご意見ご質問のある方ございませんでしょうか。

○地域密着型サービス事業指定候補事業者選定結果について

【会長】

いらっしゃらないようなので、次の地域密着型サービス事業指定候補事業者選定結果について、事務局の方から報告をお願いします。

<事務局説明>

【会長】

ただいまの説明に対しましてご質問ご意見はございませんでしょうか。

○地域包括支援センターの業務委託について

【会長】

ないようですので、次の地域包括支援センターの業務委託について、事務局から報告をお願いします。

<事務局説明>

【会長】

ただいまの説明に対しましてご質問、ご意見はございませんでしょうか。

遠いところから始めていって、近くに近づけてくるということなんですかね。1番最後に、河東、中央、日の里という、市役所をとり囲むようなところは最後であるということによろしいですね。

【事務局】

はい。

【会長】

ご質問ご意見はございませんか。

4. その他

【会長】

その他に進ませてもらいたいと思います。

- ・地域包括ケアシステム推進会議設置要領について
- ・地域包括ケアシステム市民向け講演会の開催について

<事務局説明>

【会長】

ただいまの説明に対しましてご質問やご意見ございませんでしょうか。

推進会議について質問させていただきたいんですけども、「推進会議は、必要に応じ、委員長が招集し」とあるんですけど、大体どのぐらいの間隔で、年間にどのぐらいのつていうようなイメージはあるんでしょうか。

【事務局】

間もなくですね、第1回全体会議を開きますけども、全体会議におきましては基本委員、専門委員で特に地域包括ケアシステムにつきまして、全員で理解するというので、まず第1回目開きまして、基本的には、専門委員は、個別の案件についてですね、事案ごとに出るということで、例えばごみ出しであれば、環境課となりますので、そういったところと連携してですね、できれば、タイムリーにですね、会議を行っていきたいということで、専門委員全員が集まるという会議でなく、基本委員プラスに専門委員が加わって、課題についての協議を行うというふうな会議を考えています。

【会長】

忙しい中大変でしょうけども、タイムリーに実施していただければと思いますし、課題に対しての対応策を考えていただきたいと思いますのでよろしくお願いします。

ほかにございませんか。

なければ、閉会ということで、お願いします。

【事務局】

本日はみなさんどうもありがとうございました。今年度第1回ということで、今年度中に、あと一、二回は開催させていただきたいと考えておりますのでその際はよろしくお願いいたします。

では、本日の運営協議会はこれにて閉会いたします。どうもありがとうございました。

5. 閉会